2023

No. 1006 3月15日号

●〒296-8602 千葉県鴨川市東町929 ●TEL04(7092)2211代 ●発行責任者 亀田隆明 ●作成 広報企画室

●毎月1日・15日発行

康保険証

医療や介護サービスを効率的に提供し、患者さまの 利便性を高めるにはデジタル化が欠かせません。そこ で政府は、マイナンバーカードを健康保険証として使 う[マイナ保険証]の普及に向けた取り組みを強化し ており、当院でも4月からマイナンバーカードで保険 証の資格確認が可能になります。

■マイナ保険証のメリット

健康保険証としてずっと使える

%1

白分の健康情報を見るなど、健康管理や 医療の質が向上

高額療養費制度における限度額超過分 の一時的な支払いが不要

%2

医療費控除が簡単に

0

※1: 医療保険者が変わる場合は、加入の届出が引き続き必要です

※2: 自治体独自の医療費助成等(難病、こども、ひとり親、 障害等)には対応していません。これまでどおり資格 証等の持参が必要です

受診時の「マイナ保険証」の使い方

■事前登録しておくと受付がスムーズ

マイナンバーカードを健康保険証として利用する ためには、受診時に顔認証付き読み取り機で申し込 みができますが、申し込み完了まで少しお時間をいた だく場合があります。ご来院前にマイナポータル(ウェ

ブサイト) またはセブン銀行ATMで 事前申込いただくと、受付がスムーズ です。詳しくはマイナポータルや厚生 労働省のサイトをご確認ください。



■読み取り機にカードを置いて本人確認

1階総合受付に設置された。 読み取り機に



- ① マイナンバーカードを置く
- ② 顔認証または4桁の暗証番号 入力で 本人確認をする ※顔認証の時はマスクを外してください。 (着用したままだと認証しないことがあります

歯科センターの 受付・診療時間が変わります

歯科センターの受付・診療時間が下記のとお り変わります。 医科と予約受付時間が異なりま すのでご注意ください。

予約受付時間 8:30~18:00 診療時間 9:00~18:00 (最終予約17:30) 予約専用電話 04-7099-1118

亀田へアケアステーション 1変更のお知らせ

B棟1階の「亀田へアケアステーション(スヴェンソン)」 では、4月より営業日を下記のとおり変更いたします。 土曜日は毎週営業いたしますので、化学療法に伴い医療 用ウィッグやケア帽子をお求めの方は、ぜひお立ち寄り ください。ウィッグのフィッティングや頭皮ケアのアド バイスも行っています。(予約優先)

■営業日 月曜〜金曜 土曜

9:00~17:00 9:00~16:00

■定休日 日曜・祝日

|ご予約・お問い合わせ 04-7096-5533

第6話 慢性腎臓病(CKD)の治療(前編)

腎臓高血圧内科の長岡可楠子と申します。今回は慢性腎臓病(以下CKD)の治療についてお話します。 CKDの方には、貧血改善、ビタミンD改善、カリウムなどの電解質を整える薬など、さまざまな作用のお薬を使用しますが、腎臓そのものを守ってくれるものを新薬とともにご紹介します。

SGLT2 阻害薬とは?

(フォシーガ®、ジャディアンス®、カナグル®など)

糖尿病治療に使われる「SGLT2阻害薬」は、尿中に 糖を捨てることで血糖値の改善を目指す薬剤ですが、 同時に高血圧の原因である塩分を排出してくれること

や態る化く腎をとき、低なっの善と負るっのすかとしてもあった。



そのため、これまでは糖尿病患者さまのお薬でしたが、最近は糖尿病がないCKDや慢性心不全の方にも使用できるようになってきました。

注意点としては、尿路感染症・性器感染症、脱水などが起きやすいことが挙げられます。風邪をひいて食事が十分にとれない場合などは、内服を継続すべきかご相談ください。また、SGLT2阻害薬の内服開始後は血清クレアチニンが上昇することがありますが、多くの場合は内服開始時の一時的なもので、長い目で見

るとクレアチニンの上昇は問題ありません。ご安心く ださい。

ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬(MRB)とは? (ミネブロ[®]、ケレンディア[®])

ミネラルコルチコイドは副腎から分泌されるホルモンで、主なものがアルドステロンです。アルドステロンは、血圧調節や体の中のミネラルバランス調節を行っていますが、過剰になってしまうと、体の中に塩分が貯まって血圧が上がり、慢性炎症により臓器障害を引き起こします。

CKDの治療は、このアルドステロンを抑えることがとても大切です。そこで、アルドステロンを抑制することで血圧を下げ、腎臓を保護する働きのあるお薬(アンジオテンシン変換酵素阻害薬、アンジオテンシンII 受容体拮抗薬)がこれまで治療の中心となってきました。

しかし、長期に使用していると、アルドステロンの抑制が効かなくなってくることがあります。そこで、ミネラルコルチコイド受容体を直接抑制する薬に期待がよせられています。それがMRBです。これまでにもステロイド性のMRBがありましたが、一部で女性化乳房の副作用があったほか、CKDの抑制という観点では、効果がはっきりしていませんでした。新たに登場したMRBは、非ステロイド性で選択的にミネラルコルチコイドを抑制するエサキセレノン(ミネブロ®)とフィネレノン(ケレンディア®)というお薬で、CKDの進行の抑制が期待されています。なお、フィネレノンの適応は、「2型糖尿病があるCKD患者(透析患者を除く)」となります。

以上が腎臓を守ってくれるお薬の話でした。少し難かしかったでしょうか。

良い管理をしてあげれば、CKDでも元気で過ごす ことができます。透析にならないよ

うに、「自分の腎臓で人生を走りきれる」というのは大切なことです。 ぜひ皆さまに、より良い治療のお手 伝いができれば良いなと思い日々努めてまいります。



医師紹介網師本健佑



「①担当科目 ②診療における得意分野 ③趣 味 ④ひと言



- ①産婦人科 ②産婦人科
- ③映画、バドミントン、テレビ、お笑い、ドライブ ④お一人おひとり誠意を持って診療させていた だきます。一緒に最良のライフプランを考え ていきましょう。